

- 蒲原聡・伏屋満・原田靖子・服部克也 2007. 1997年から2005年までの愛知県岩礁域におけるサガラメ *Eisenia arborea* 群落の様相. 愛知県水産試験場報告 13: 13-18.
- 蒲原聡・服部克也・原田靖子ら 2009. 伊勢湾東部沿岸サガラメ群落における年間準生産量と炭素・窒素の年間吸収量. 日本水産学会誌 75: 1027-1035.
- 清本節夫 2011. 長崎県橘湾沿岸の転石海岸におけるムラサキウニの個体群動態, 特に台風が及ぼす影響について. 日本ベントス学会誌 66: 48-60.
- 清本節夫 2015. 長崎県沿岸域における水温上昇とウニの摂食による藻場の衰退がアワビ資源に及ぼす影響. 長崎大学博士論文, 長崎.
- 倉島彰・栗藤和治・前川行幸 1999. 三重県賀田湾の海藻植生. 三重大学生物資源学部紀要 21: 55-65.
- 倉島彰・森田晃央・栗藤和治・前川行幸 2001. 三重県早田浦の海藻植生. 三重大学生物資源学部紀要 27: 41-49.
- 倉島彰・石川達也・竹内大介・岩尾豊紀・前川行幸 2014. 三重県早田浦の磯焼け海域におけるガンガゼ除去の影響. 日本水産学会誌 80: 561-571.
- Ling, S. D., Scheibling, R. E., Rassweiler, A. *et al.* 2015. Global regime shift of catastrophic sea urchin overgrazing. *Phil. Trans. R. Soc. B* 370: 20130269.
- 前川行幸・栗藤和治 1996. 三重県尾鷲湾におけるアラメ群落の生育環境と消長. 藻類 44: 95-102.

- 尾鷲市 2020. 尾鷲の漁業 H30 統計資料. 尾鷲市, 三重.
- Takao, S., Kumagai, N., Yamano, H., Fujii, M. & Yamanaka, Y. 2015. Projecting the impacts of rising seawater temperatures on the distribution of seaweeds around Japan under multiple climate change scenarios. *Ecol. Evol.* 5: 213-223.
- 富永春江・芹津如比古・大野正夫 2004. 高知県土佐湾産カジメにおける葉状部の生産量と葉状部基部の大きさの季節変化. 藻類 52: 13-19.
- 八谷光介・桐山隆哉・清本節夫・種子田雄・吉村拓 2014. 2013年に発生した長崎県壱岐市郷ノ浦町地先におけるアラメ・カジメ場の衰退過程について—夏季の高水温による発生と秋季の食害による拡大—. *Algal Resources* 7: 79-94.
- Yokohama, Y., Tanaka, J. & Chihara, M. 1987. Productivity of the *Ecklonia cava* community in a bay of Izu Peninsula on the Pacific coast of Japan. *Bot. Mag. Tokyo* 100: 129-141.
- 吉田太輔 2016. 島根県沿岸における藻場の状況と磯焼けに関する聞き取り調査. 島根県水産技術センター研究報告. 9: 37-42.
- 吉田忠生 1970. アラメの物質生産に関する2・3の知見. 東北区水産研究所研究報告. 30: 107-112.

(2021年11月11日受付, 2021年12月15日受理)
通信担当編集委員: 秋野 秀樹



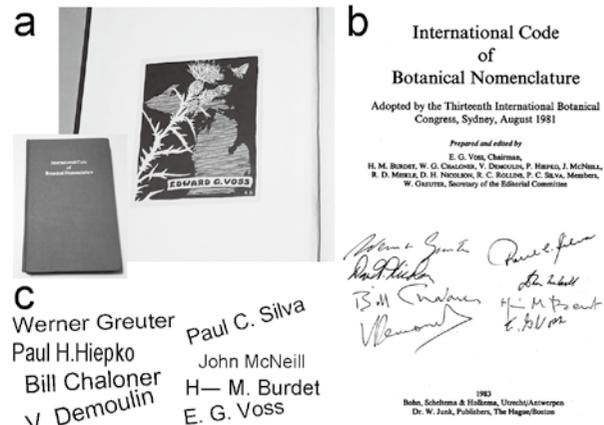
古書は天下の回りもの

仲田 崇志

日本ではあまり一般的ではないが、欧米には蔵書票(またはエクス・リブリス *ex libris*)という文化がある。自分の蔵書であることを示すために貼り付ける紙片である。古書に蔵書票があると、前の持ち主がどのような人物だったのか調べたくなる。専門書の場合は、前の所有者が研究者の場合も多い。

特にお気に入りの蔵書は、“International Code of Botanical Nomenclature 1983” (国際植物命名規約 1983, シドニー規約)である。2014年にミシガン州の古書店から8ドルで購入した本には、アザミと蝶が描かれた Edward G. Voss (1929-2012; 植物学者にして蝶の研究者)の蔵書票が貼られていた。

この本が特別なのは、Voss 自身が編集長を務めた規約だからだ。しかもこの本の扉には、Voss 本人を含む編集委員会メンバー8人のサインが寄せられていた。中には藻類学者の P. C. Silva (1922-2014) や、『ベルリン規約』、『東京規約』、『セントルイス規約』の編集長 W. Greuter (1938-), 『ウィーン規約』と『メルボルン規約』の編集長 J. McNeill (1933-) の名前も見える。古書にはこんな思わぬ出会いもある。



“International Code of Botanical Nomenclature 1983” (シドニー規約, 筆者蔵). a, 書影と見返しの蔵書票 (Edward G. Voss). b, 編集委員のサインが書かれた標題紙. c, 判読したサイン.